

バーコードスキャナー

取扱説明書

Ver. 01. 3. 05

初めに

1. バーコードスキャナーを正しく使用するためには、説明書をよく読んでから設定コードをスキャンしてください。そうしないと、一部の設定が一時的に使用できなくなることがあります。
 2. 使用する前に、スキャナーに十分な電力があることを確認してください。
 3. コンピュータのUSBコネクタまたは5V DC USBコネクタの電源アダプタを使用してスキャナーを充電してください。
- その他の電源はスキャナーやバッテリーに損傷を与える可能性があります。

最新アップグレードのスキャナーは「バーコードデータ置換」、
「文字挿入」も設定できます。

手順は少し複雑で、すべて説明書に記載しますと、素人にとって説明書が厚すぎて、理解しにくいです。もし当該機能にはご要望する場合、出品者まで連絡してください。

出品者まで連絡手順：

ご注意：注文番号と製品状況も一緒に記入してください。

①アカウントサービス>注文履歴を開きます>「出品者」のリンクをクリックします>詳細の「出品者に連絡」をクリックします。

②日本公式メアド：service-jp@tera-digital.com

電子取扱説明書（各国言語）がご必要する場合、以下の公式ウェブまで：
<https://tera-digital.com>



目次

充電手順.....	01
有線接続手順.....	01
工場出荷時のデフォルトに戻す.....	01
カスタムデフォルト設定.....	02
バージョン番号の表示.....	02
提示音設定.....	02
提示音周波数.....	02
振動設定.....	03
電量表示.....	03
スキャンモード.....	03
スリープ時間の設定.....	04
ワイヤレス動作モード.....	04
同期モード（即時アップロードモード）.....	04
ストレージモード（蓄積モード）.....	05
ワイヤレスペアの設定.....	06
ワイヤレス2.4 Gペアリングの手順（受信機のペアリング）.....	06
Bluetooth HIDペアリングの手順.....	07
Bluetoothモード機能の設定.....	08
IOSシステムHID仮想キーボードの設定（Androidシステム非対応）.....	08
Bluetooth HIDアップロード速度の設定.....	09
Bluetooth名の設定.....	10
Bluetooth名を取得.....	11
キーボード言語の設定.....	11
USBキーボードの日本語出力.....	12
大文字と小文字の変換.....	13
隠し文字GS置換機能.....	13
カスタム接頭/尾辞設定.....	14
前/後の文字を非表示にする.....	15
終了文字の設定/ターミネータ設定.....	16
リアルタイムに時間更新.....	17
付録-ブザー音の説明.....	19
バーコード種類別オン/オフ.....	20
付録-ASCIIコード文字表.....	32
よくあるご質問.....	40

注意：

以下の画面説明は、カウンター型のスクリーン付きのスキャナーのみ適用されます。

他の製品には適用されません。



上キーまたは下キー：データをクリアするために3秒間押し続ける
上キー+下キー：ホームページに戻る

充電手順

パッケージに付属されたUSB線をパソコンのUSBポートに差し込んで充電できます。

また充電中に少し注意事項がございます。

1. パッケージに付属された純正usbケーブルを利用してください。
2. 5V/1Aの充電器を利用してください。例えば、直接にパソコンのUSBポートに差し込んで、充電します。
3. 市場に販売された充電器、例えば、スマホのUSB 急速充電器は5V/4.8A、電流や電圧が高く、スキャナーのプリント基板が壊れ、使えなくなる場合がございます。

有線接続手順

1. パッケージに付属されたusbケーブルをパソコンのusbポートに差し込みます。スキャナーと接続します。
2. スキャナーのトリガーボタンを押して、電源を入ります。
(リング式スキャナーは先に裏面の電源をオンにしてください。)
もう一回トリガーボタンを押して、赤い読み取りライトが出るかどうかを確認します。
3. パソコンのメモ帳を開きます。
4. メモ帳のカソールは点滅している状態に確認します。
5. 手元にあるバーコードをスキャンします。例えば本の後ろに貼られた二次元バーコード。
データがパソコンに伝送されたかどうかを確認します。
もし相変わらずだめなら、別のUSBポートに差し込んで見てください。

工場出荷時のデフォルトに戻す

すべてのスキャナには工場出荷時のデフォルト設定があり、「ワイヤレスを工場出荷時のデフォルトに戻す」設定バーコードを読み取ると、スキャナのすべてのワイヤレスプロパティがデフォルト状態に設定されます。



ワイヤレスを工場出荷時のデフォルトに戻す

使用方法:

この設定コードは、次のような場合に使用される可能性が高くなります:

1. バーコードが認識されないなど、スキャナーの設定エラー。
2. 以前にどのような設定をしたかを忘れてしまい、かつ以前の設定を使いたくありません。
3. あまり使われていない機能を使用するように設定し、使用した後。

カスタムデフォルト設定

カスタムデフォルトを設定することで、ワイヤレスパラメータのデフォルト値を設定できます。「設定モードに入る」バーコードをスキャンしてから、必要なワイヤレスパラメーター機能をスキャンし、設定が完了したら、「セットアップモードを終了する」バーコードをスキャンしてください。設定が完了すると工場出荷時のデフォルト値が置き換わります。ワイヤレスパラメータの設定が復元されても、元の状態には戻りません。



カスタムデフォルト設定



設定モードに入る



セットアップモードを終了する

バージョン番号の表示

現在のスキャナーワイヤレスソフトウェアのバージョン番号情報は、下の「バージョン番号の表示」をスキャンして参照できます。



バージョン番号の表示

ブザー音設定



ブザー音高*



ブザー音中



ブザー音低



ブザー音オフ

提示音周波数



2048MHz



2730MHz

振動設定



振動をオン



振動をオフ

注意： 振動機能は一部の製品で利用できます。

バッテリー残量表示

現在のスキャナの電量を確認する必要がある場合は、「バッテリー残量表示」設定コードを直接スキャンして確認できます。



バッテリー残量表示

スキャンモード



トリガースキャン**



連続スキャンモード



自動検知スキャンモード

スリープ時間の設定



スリープ時間30秒



スリープ時間1min



スリープ時間2分



スリープ時間5分*



スリープ時間10分



スリープ時間30分



スリープしない



今すぐスリープ

ワイヤレス動作モード

ワイヤレススキャナには、同期モード、ストレージモードの2つの異なる動作モードがあり、異なる設定コードを使用してモードを切り替えることができます。

同期モード（即時アップロードモード）

同期モードは通常モードとも呼ばれ、同期モードを設定すると、ユーザーは通常のバーコードをスキャンします。スキャンすると転送され、切断すると破棄されます。



同期モード*

ストレージモード（蓄積モード）

ストレージモードは、インベントリモード、倉庫モードとも呼ばれます。ストレージモードを設定すると、ユーザーは通常のバーコードをスキャンする場合、バーコード情報はホストデバイスに直接アップロードされるのではなく、スキャナメモリに保存されます。スキャナに保存されているデータを表示するには、データ制御を使用してデータをアップロードしたり、データをクリアしたり、バーコードデータを統計的に表示したりすることができます。

スキャナの電源がオフになっている場合、スキャナに保存されているデータは、すべてのデータがクリアされない限り失われません。



ストレージモード

すべてのデータをアップロード

ユーザーがスキャナーに保存されているデータ（蓄積モードで）をコンピュータまたはモバイルデバイスにアップロードする必要がある場合は、

「すべてのデータをアップロード」をスキャンすると、コンピュータまたはモバイルデバイスにデータをアップロードできます。

任意の動作モードですべてのデータをアップロードする場合、データアップロードが成功した後、保存されているバーコードは、すべてのバーコードをスキャンしてクリアしない限り削除されません。



すべてのデータをアップロード

アップロードされたデータの合計数

ユーザーがスキャナーに保存されているデータの総数を統計する必要がある場合、「アップロードされたデータの合計数」をスキャンすることで、スキャナーに保存されているデータの総数をコンピュータまたはモバイルデバイスにアップロードすることができます。



アップロードされたデータの合計数

すべてのデータを消去

ユーザーがスキャナーに保存されているデータを消去する必要がある場合は、「データ消去」をスキャンしてスキャナーに保存されているデータをすべて消去します。



すべてのデータを消去

ワイヤレスペアの設定

ワイヤレス2.4 Gペアリングの手順（受信機のペアリング）

XP、Win7、Win8、Win10、MACOSなどをサポートしています。

ステップ1:ワイヤレス2.4Gモード設定コードのスキャン

ワイヤレス2.4Gモードが設定されている場合、デフォルトでは、最後にペアリングされた受信機が優先的に接続されます。



ワイヤレス2.4 Gモード

ステップ2:

「強制ペアリング」設定コードをスキャンしてペアリング状態にし、青い提示光をすばやく点滅させます。

（またはスクリーン画面が点滅します。）



強制ペアリング

ステップ3:Dongle（受信機）を挿入して、ペアリングが成功したことを示す「び」という音を聞こえます。青いLEDは点灯します。

（またはスクリーン画面の点滅が停止します。）

注意:

ペアリング状態は、キーを2回連続してクリックするか、ペアリングが1分タイムアウトすると終了します。

Bluetooth HIDペアリングの手順

注意：

下のBluetoothに関する設定はBluetooth付きのスキャナーだけに適応です。

ステップ1:Bluetooth HIDモード設定コードのスキャン
ワイヤレスBluetooth HIDモードを設定すると、デフォルトでは、最後にペアリングされた受信機が優先的に接続されます。



Bluetooth HIDモード

ステップ2:

「強制ペアリング」設定コードをスキャンしてペアリング状態にすると、青い提示ライトがすばやく点滅します。
(またはスクリーン画面が点滅します。)



強制ペアリング

ステップ3:デバイスでBluetoothをオンにし、「BarCode Scanner HID」を検索します。

ステップ4:「BarCode Scanner HID」Bluetoothデバイスをクリックしてペアリング状態にします。

ステップ5:ペアリングに成功したことを示す「び」という音が聞こえ、青い提示ライトが点灯します。

(またはスクリーン画面の点滅が停止します。)

注意：

ペアリング状態は、キーを2回連続してダブルクリックするか、ペアリングが1分タイムアウトすると終了します。

Bluetooth HIDモードに入る方法2

ステップ1:下記の「8秒間の長押しでBluetooth HID検索をオンにする」の設定コードをスキャンしてください。

ステップ2:トリガーボタンを約8秒間長押ししてください。

「び」という音が聞こえたら手を離してください。スキャナーの青いライトが点滅します。そして、上記のステップ3からステップ5を繰り返してください。

Bluetoothモード機能の設定

Bluetooth HID検索を開始するには、8秒間長押しします。
Bluetoothバーコーダーを使用している場合は、8秒間長押しして
Bluetooth HID検索を開始すると、Bluetooth構成接続をより高速に行うことが
できます。



8秒間の長押しで
Bluetooth HID検索をオンにする



8秒間の長押しで
Bluetooth HID検索をオフにする

注意：

当該スキャナーはBluetooth BLEモードまたはBluetooth SPPモードに設定
できます。

ただし、「Bluetooth BLE/SPP」モードを設定する場合は、
専用のBluetooth BLE/SPPソフトウェアが必要です。

普通の携帯電話やiPadとBluetoothで接続したい場合は、「Bluetooth HID」
モードをご利用いただければ結構です。「Bluetooth BLE/SPP」モードは仮想
シリアルの場合に利用できます。

初心者にとって少し複雑であり、迷惑をかけないように、この説明書には
記載されていませんでした。もし「Bluetooth BLE/SPP」モードを設定した
い場合は、お手数ですが、出品者にご連絡ください。

IOSシステムHID仮想キーボードの設定（Androidシステム非対応）

Bluetooth HIDモードを使用してIOSシステムに接続しているときは、
「IOSキーボードの表示/非表示」をスキャンして、IOSキーボードを
表示/非表示にすることができます。



IOSキーボードの表示/非表示

ユーザーはIOSキーボードのクイック表示/非表示を設定することもできます。ダブルクリックでIOSキーボードを表示する機能をオンにすると、スキャナボタンをクリックするだけでIOS仮想キーボードを呼び出すことができます。



ダブルクリックでIOSキーボードを表示（HIDモード）をオンにします



ダブルクリックでIOSキーボードを表示（HIDモード）をオフにします

Bluetooth HIDアップロード速度の設定

Bluetooth HIDを使用してBluetoothホストに接続する場合、Bluetoothホストの応答性に応じてBluetoothスキャナのアップロード速度を調整することができます。アップロードしたコンテンツが乱れたり失われたりした場合は、速度を下げてください。



高速アップロード



アップロード速度中*



アップロード速度が遅い



アップロード速度が非常に遅い

Bluetooth名の設定

以下の手順でBluetooth HID、SPP、BLEのBluetooth名をカスタマイズします。

操作手順は以下のとおりである

ステップ1: カスタムBluetooth名設定コードのスキャンします。



Bluetooth名のカスタマイズ

ステップ2: Bluetooth名のバーコードをスキャンします。

注: Bluetoothのデフォルト名は「Barcode Scanner」です。

この手順で設定すると、このバーコードがBluetoothの名前に設定されます。

- a) 名前は16バイトまでしか設定できません。名前のバーコードが16バイトを超える場合は、最初の16バイトのみがBluetooth名として使用されます。
- b) Bluetoothのフルネームには、Bluetooth名+プロトコルタイプが含まれません。Bluetooth名の変更のみがサポートされています。Bluetoothの名前を変更すると、すべてのBluetoothプロトコルの名前が変更されます。

例: Bluetooth名をScannerに設定します。

ステップ1: カスタムBluetooth名設定コードのスキャンします。



Bluetooth名のカスタマイズ

ステップ2: Bluetooth名のバーコードを作成してスキャンします。



Bluetooth名Scanner

セットアップ完了後:

Bluetooth HIDの名前は、「Scanner HID」と表示されます。

Bluetooth SPPの名前は、「Scanner SPP」と表示されます。

Bluetooth BLEの名前は、「Scanner BLE」と表示されます。

Bluetooth名を取得



Bluetooth名を取得

注意: Bluetooth HID、SPP、BLEモードでのみBluetooth名を取得できます。
それ以外の場合は失敗します。

キーボード言語の設定

異なる国の言語に対応するキーボードの配置、記号などは異なり、
スキャナーは実際の必要に応じて異なる国のキーボード方式に仮想化することができ、
キーボードレイアウトの設定はHID通信インタフェースモードに適用され、
デフォルトは「アメリカ英語キーボード」に設定されています。



英語



ドイツ語



フランス語



スペイン語



イタリア語



日本語



ベルギー、
フランス語



国際共通
キーボード

注意: すべてのPC側の言語をサポートする国際共通キーボード。

USBキーボードの日本語出力

日本語を含むバーコードを出力したい場合、出力インターフェースによって、対応する設定コードをスキャンしてください。

ご注意：

iPadやスマホへの日本語を含むバーコードの出力がサポートしません。

以下の設定はV2.29以上のバージョンのみ適応。

1. 出力インターフェース：Excel/メモ帳TXT

パソコンシステム言語：日本語

キーボード言語：日本語

設定コード



2. 出力インターフェース：Word

パソコンシステム言語：日本語

キーボード言語：日本語

設定コード



大文字と小文字の変換

スキャナの文字の大文字と小文字の変換機能を設定することにより、スキャナ出力データの英字の大文字と小文字の変換を行うことができる。たとえば、バーコードの内容がaBC123の場合、スキャナは「すべて小文字」に設定され、ホストのデータは「abc123」になります。デフォルトはNormal標準出力です。



Normal (変更なし) *



Upper (すべて大文字)



Lower (すべて小文字)



Inverse
(大文字と小文字を逆にする)

注意:

このパラメータは、標準キーボード入力モードとキーボードエミュレーション入力制御文字モードでのみ有効です。

隠し文字GS置換機能

GS置換機能を使用すると、隠し文字GSを他の文字に置換することができ、ホスト機器での表示を容易にすることができます。隠れたGS文字を表示する必要がある場合は、ASCIIコード文字表の1DにGS置換を設定することができます。

カスタムGS置換

ステップ1: カスタムGS置換設定コードのスキャンします。



カスタムGS置換

ステップ2:

「付録-ASCIIコード文字表」で検索し、置換する文字に対応するバーコードをスキャンします。

例:

GS文字を表示可能な「|」文字に置き換える

ステップ1:カスタムGS置換設定コードのスキャンします。

ステップ2では、「付録-ASCIIコード文字表」で検索し、「|」文字に対応するバーコードを見つけ、スキャンします。

GS置換をキャンセル



GS置換をキャンセル

カスタム接頭/尾辞設定

この製品では、最大32バイトの接頭辞設定をサポートしています。

カスタム接頭辞の追加

ステップ1:「カスタム接頭辞を追加」設定コードをスキャンします。



カスタム接頭辞を追加

ステップ2:必要に応じて追加の内容は、「ASCIIコード文字表」をスキャンして、カスタム接頭辞に対応する設定コードをスキャンしてください。

例:

「ABC123」を設定し、カスタム「789」を追加し、「789ABC123」を出力します。

ステップ1:「カスタム接頭辞を追加」設定コードをスキャンします。

ステップ2:必要に応じて追加の内容を照会して「ASCIIコード文字表」を順次スキャンして「7」、「8」、「9」対応の設定コードをスキャンしてください。

カスタム接頭辞の消去

3ページ目の「ワイヤレスを工場出荷時のデフォルトに戻す」をスキャンして、接頭辞を消去できます。

カスタム接尾辞の追加

ステップ1: 「カスタム接尾辞の追加」設定コードをスキャンします。



カスタム接尾辞の追加

ステップ2: 必要に応じて追加の内容は、「ASCIIコード文字表」をスキャンしてカスタム接尾辞対応のコードを設定してください。

例:

「ABC123」を設定し、カスタム「XYZ」を追加し、「ABC123XYZ」を書き出します。

ステップ1: 「カスタム接尾辞の追加」設定コードをスキャンします。
ステップ2: 必要に応じて追加の内容を照会して「ASCIIコード文字表」を順次スキャンして「X」, 「Y」, 「Z」対応の設定コードをスキャンしてください。

カスタム接尾辞の消去

3ページ目の「ワイヤレスを工場出荷時のデフォルトに戻す」をスキャンして、接頭辞を消去できます。

前/後の文字を非表示にする

次の手順に従って、非表示の前後の文字の桁数を設定します。最大16桁まで非表示にできます。

ステップ1: 「前の文字を非表示」または「後の文字を非表示」の設定コードをスキャンします。



前の文字を非表示



後ろの文字を非表示

ステップ2: 必要に応じて、非表示の接頭辞または接尾辞文字のビット数に応じて、次のバーコードをスキャンします。



1桁を隠す



2桁を隠す



3桁を隠す



4桁を隠す

前後文字の非表示をクリア

前の文字を非表示」するのをキャンセルしたい場合、もう一回

「前の文字を非表示」の設定コードをスキャンして、前の文字隠すの設定が元に戻れます。

「後ろの文字を非表示」の設定コードをもう一回スキャンして、後ろの文字隠すの設定が元に戻れます。

終了文字の設定/ターミネータ設定

終了文字は、完全なデータ情報の終了を示すために使用されます。

終了文字接尾辞は、データ送信時の最後の内容である必要があり、その後にデータが追加されることはありません。必要に応じて適切な終了文字をスキャンしてバーコードを設定します。デフォルトはエンターです。



修正終了文字を<CR>に修正 (0x0D) *



終了文字を<LF>に修正 (0x0A)



終了文字を<CR><LF>に修正 (0x0D, 0x0A)



終了文字を<HT>に修正 (0x09)



終了文字をなしに変更NONE

リアルタイムに時間更新

注意：時間追加機能は一部のスキャナーに適応です、すべてのスキャナーに適応ではありません。

A: トリガーボタンを押して、スキャナーの電源を入ります。

B: USBケーブルでスキャナーとパソコンを接続します。

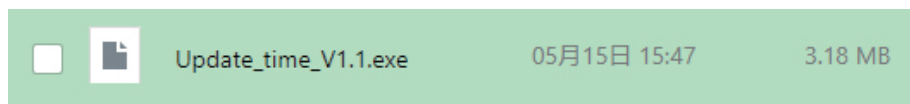
C: スキャナーで以下のQRコードをスキャンして、以下のリンクが出ます。
リンクをクリックして、ウェブを開きます。

(あるいはウェブで以下のリンクを手入力して、以下のリンクをタップして、ウェブを開きます。)


<https://www.dropbox.com/sh/j4u98o1eaku62jq/AAD22XJNZBWiixrP2oBbsNdJa?dl=0>




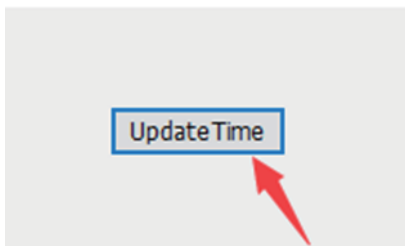
D: date_time_V1.1プログラムをダウンロードします。



E: date_time_V1.1プログラムをクリックして、時間を更新します。

 Update_time_V1.1

 Scanner Set TFT Tool ×



プレフィックスに時間追加

バーコードの先頭に時間を付けたい場合、
以下の設定コードをスキャンしてください。



サフィックスに時間追加

バーコードの末尾に時間を付けたい場合、
以下の設定コードをスキャンしてください。



時間追加の削除

時間の追加をキャンセルしたい場合、
以下の設定コードをスキャンしてください。



付録-ブザー音の説明

1つの長音 (先に低いものから後に高いものまで)	電源がオンになっていることを示す。
1つの長音 (最初は高いが後は低い)	電源がオフになっていることを示す。
短音	通常のバーコードが読み取られたか、ペアリングに成功したか、ワイヤレス接続に成功したかを示します。
1つの短い音 (最初は低い が後は高い)	スキャンしたデータが保存されたことを示します。
1つの短い音 (最初に高い後に低い周波数)	設定コードがスキャンされたことを示します。
3回の短音	ワイヤレス転送が失敗したか、メモリーがいっぱいであることを示します。
5回の短音	バッテリーが切れていることを示す。
2回の短音 (低周波)	ワイヤレス接続が切断されていることを示します。
2回の短音 (高周波)	スキャンした設定コードが機能しない。

バーコード種類別オン/オフ

ご注意：一番よいデコード機能を実現するために、製品が出荷する際に、あまり使わないバーコードが出荷する際にオフに設定されます、例えば：ISSNコードが出荷する際に、オフに設定されました。ですので、ISSNコードを読み取りたい場合、先に「ISSNオン」の設定コードをスキャンする必要があります。

「**」が付いたのはスキャナーのデフォルト設定です。



すべての種類のバーコードオン



すべての種類のバーコードオフ



すべての1次元バーコードオン



すべての1次元バーコードオフ



すべての2次元バーコードオン



すべての2次元バーコードオフ

ご注意：「すべての種類のバーコードオフ」に設定されても、設定コードがオフになりません。

UPC-A



UPC-Aオン**



UPC-Aオフ



チェックデジット文字伝送**



チェックデジット文字非伝送

UPC-A—システム文字伝送



システム文字伝送**



システム文字非伝送

UPC-Aバーコードタイプは拡張設定をサポートしています。拡張をオンにすると、バーコード情報は13ビットに変換され、先頭に「0」が付加され、タイプはEAN-13に変換されます。デフォルトでは変換されません。



UPC-AをEAN-13に変換



UPC-AをEAN-13に非変換**

UPC-E



UPC-E0オン**



UPC-E0オフ



UPC-E1オン



UPC-E1オフ**

UPC-E—チェックデジット文字転送

UPC-Eバーコードデータは8文字に固定され、8ビット目は8文字すべての正確性を検証するためのチェックデジット文字であり、デフォルトではチェックデジット文字を転送します。



チェックデジット文字伝送**



チェックデジット文字非伝送

UPC-E /UPC -A/EAN 8/EAN 13アドオンコード



2桁アドオンコードオン



2桁アドオンコードオフ**



5桁アドオンコードオン



5桁アドオンコードオフ**

UPC-E—アドオンコードを強制的に含める

「アドオンコードを強制的に含める」の設定コードをスキャン後に、バーコードスキャナーはアドオンコード付きのバーコードのみ認識できます。



アドオンコードを
強制的に含める



アドオンコードを
非強制的に含める**

UPC-E—アドオンコード区切り

この機能が有効になっている場合、バーコードデータとアドオンコードの間にスペースがあります。この機能が無効になった場合、スペースはありません。デフォルトにはスペースがあります。



区切りオン**



区切りオフ

UPC-E—システム文字/国コード伝送

UPC-Eバーコードの国家コードはプレフィックス文字であり、この文字は一般的にバーコードの下の識別文字には表示されず、「0」はUSAを表します。



システム文字伝送**



システム文字非伝送

UPC-EからUPC-Aに変換

UPC-Eコードタイプは拡張設定をサポートしています。拡張をオンにすると、バーコード情報は12ビットに変換され、タイプはUPC-Aに変換されます。デフォルトでは変換されません。



UPC-EをUPC-Aに変換



UPC-EをUPC-Aに非変換**

EAN/JAN 8



EAN/JAN 8オン**



EAN/JAN 8オフ

EAN/JAN 8—チェックデジット文字転送

EAN/JAN 8バーコード・データは8文字で固定され、8ビット目は8文字すべての正確性を検証するためのチェックデジット文字であり、デフォルトではチェックデジット文字を転送します。



チェックデジットオン**



チェックデジットオフ

EAN/JAN 8からEAN13に変換

EAN/JAN 8コードタイプは拡張設定をサポートしています。拡張をオンにすると、バーコード情報は13ビットに変換され、タイプはEAN13に変換されます。デフォルトでは変換されません。



EAN/JAN 8をEAN13に変換



EAN/JAN 8をEAN13に非変換**

EAN/JAN 13



EAN/JAN 13オン**



EAN/JAN 13オフ

EAN/JAN 13—チェックデジット

EAN/JAN 13バーコードデータは13文字に固定されており、13番目はチェック文字で、全12文字の正確性をチェックするために使用され、デフォルトではチェックデジット伝送です。



チェックデジット伝送**



チェックデジット非伝送

EAN-13からISBNに変換



EAN-13をISBNに変換



EAN-13をISBNに非変換**

ISBNチェックデジット



ISBNチェックデジット伝送



ISBNチェックデジット非伝送**

EAN-13からISSNに変換



EAN-13をISSNに変換



EAN-13をISSNに非変換**

ISSN



ISSNオン



ISSNオフ**

ISSNチェックデジット



ISSNチェックデジット伝送



ISSNチェックデジット非伝送**

Code 128



Code 128オン**



Code 128オフ

GS1-128 (UCC/EAN 128)



GS1-128オン**



GS1-128オフ

Code 39



オンCode 39**



Code 39オフ

Code 39—チェックデジット

Code 39バーコードにはチェックデジットは強制的に含まれません。チェックデジットがあれば、データの最後の1文字です。チェックデジットはすべてのデータから計算された値であり、データが正しいかどうかを検証します。必要に応じてチェックデジットをオンまたはオフにし、チェックデジットを送信するかどうかを設定できます。

デフォルトは「チェックデジットをオフにし、チェックデジットを伝送しない」です。



Mod 43チェックオン



チェックデジットオフ**



チェックデジット伝送



チェックデジット非伝送**

Code 39—スタート/ストップ文字伝送

Code39コードの前後には「*」がスタート/ストップ文字として追加します。コード読み取りに成功した後にスタートとストップ文字をバーコードデータと一緒に送信するかどうかを設定することができます。



スタート/ストップ文字伝送



スタート/ストップ文字非伝送**

Code 39—Full ASCII認識

コード39データにはすべてのASCII文字を含めることができるが、スキャナーはデフォルトでASCII文字の一部のみを認識し、設定によりASCII文字全体を認識する機能をオンにすることができる
デフォルトは「Full ASCII一部のみ認識」です。



Full ASCII全体認識



Full ASCII一部のみ認識**

Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

Code 32すなわちCode 32 Pharmaceutical、イタリアの薬局で使用されるCode 39バーコードの一種です。このバーコードはPAAFとも呼ばれます。
Code 32の出力形式は、*+A+8桁数字+1桁チェック*+*です。



Code 32オン



Code 32オフ**

Code 32—チェックデジット



チェックデジット伝送**



チェックデジット非伝送

Code 32にAをプレフィックスとして追加



Aをプレフィックスとして追加オン



Aをプレフィックスとして追加オフ**

Code 32 失敗読取



Code 32 失敗読取オン**



Code 32 失敗読取オフ

ご注意：Code 32 PharmaceuticalバーコードはCode 39サブクラスであり、Code 32を開いていない場合はCode 32を読み取る出力内容がエラーである。すなわち、デフォルトのCode 32は失敗読取オンであり、Code 32を閉じて読み取りに失敗した場合は、Code 32バーコードをオンにしていない場合、Code 32バーコードの読み取りはできず、この場合、通常のCode 39バーコードの読み取りもできないです。

Code 93



Code 93オン**



Code 93オフ

Code 11



Code 11オン



Code 11オフ**

Code 11—チェックデジット設定

Code 11バーコードにはチェックデジットがあり、データの最後の1文字または2文字であります。チェックデジットはすべてのデータから計算された値であり、データが正しいかどうかを検証します。



1桁チェックデジット**



2桁チェックデジット

Codabar (NW-7)



Codabarオン*



Codabarオフ

Codabar (NW-7) —チェックデジット



チェックデジットなし**



Mod 16チェックデジット



チェックデジット伝送



チェックデジット非伝送**

Codabar (NW-7) —スタート/ストップ文字



スタート/ストップ文字伝送



スタート/ストップ文字非伝送**

Codabar (NW-7) —スタート/ストップ文字のフォーマット

Codabar スタート/ストップ文字は「A」、「B」、「C」、「D」の4つの文字のうち1つを許可します。ストップ文字は「T」、「N」、「*」、「E」の4文字のうち1つであってもよいです。



ABCD/ABCD**



ABCD/TN*E

Interleaved 2 of 5



Interleaved 2 of 5オン**



Interleaved 2 of 5オフ

Interleaved 2 of 5—チェックデジット

Interleaved 2 of 5バーコードの桁数は必ず偶数です、チェックデジット含みます。もし桁数は奇数の場合バーコードの一番前に0を補います。

デフォルトは「Interleaved 2 of 5チェックデジットオフ」、「Interleaved 2 of 5チェックデジット非伝送」です。



チェックデジットオフ**



Mod 10チェックデジットオン



Mod 10チェックデジット伝送



Mode 10チェックデジット非伝送**

Matrix 2 of 5



Matrix 2 of 5オン**



Matrix 2 of 5オフ

Industrial 2 of 5



Industrial 2 of 5オン**



Industrial 2 of 5オフ

Standard 2 of 5 (IATA 2 of 5)



Standard 2 of 5オン



Standard 2 of 5オフ**

MSI Plessey



MSI Plesseyオン



MSI Plesseyオフ**

Telepen



Telepenオン



Telepenオフ**

Telepen文字タイプ



数字



アルファベット数字**

GS1 DataBar 14 (RSS-14)



GS1 DataBar 14オン**



GS1 DataBar 14オフ

GS1 DataBar 14はGS1 Databar Omnidirectional、RSS-14とも呼ばれます。

GS1 DataBar Limited (RSS-Limited)



SS-Limitedオン**



RSS-Limitedオフ

GS1 DataBar LimitedはまたRSS-Limitedとも呼ばれます。

GS1 DataBar Expanded (RSS-Expanded)



RSS-Expandedオン**



RSS-Expandedオフ

GS1 DataBar ExpandedはまたRSS-Expandedとも呼ばれます。

QR Code



QR Codeオン**



QR Codeオフ

QR Code白黒反転コード



正相コードオン**



生相と逆相コードオン

Micro QR Code



Micro QR Codeオン**



Micro QR Codeオフ

Micro QR Code白黒反転コード



正相コードオン**



生相と逆相コードオン

GS1 Composite Code

ご注意：「GS1データバー限定型合成シンボルCC-A」をスキャンしたい場合、先に下の「GS1 Composite Codeオン」の設定コードをスキャンしてください。



GS1 Composite Codeオン



GS1 Composite Codeオフ**

連続コード（車検コード）



連続コードオン



連続コードオフ**

付録-ASCIIコード文字表

接尾辞表は、制御文字表部分と可視文字部分の2つの部分に分かれています。可視文字表は通常、定義せずにHIDキーボードから直接出力できます。制御文字表は、HIDキーボードから直接出力することはできません。HIDキーボードから出力するには、定義する必要があります。お客様は、必要に応じて適切な定義文字セットを設定できます。



定義文字セット設置0



定義文字セット設置1



義文字セット設置2



















定義文字セット設置3

























ASCII	文字 セット ト0	文字 セット ト1	文字 セット ト2	文字 セット ト3	設置コード
SOH	NULL	Home	Ctrl+A	Alt+001	
STX	Ctrl+B	End	Ctrl+B	Alt+002	
ETX	Ctrl+C	Up Arrow	Ctrl+C	Alt+003	
EOT	NULL	Down Arrow	Ctrl+D	Alt+004	
ENQ	NULL	Left Arrow	Ctrl+E	Alt+005	
ACK	NULL	Right Arrow	Ctrl+F	Alt+006	
BEL	NULL	Shift+ Tab	Ctrl+G	Alt+007	
BS	Back Space	Back Space	Back Space	Alt+008	
HT	Tab	Tab	Tab	Alt+009	

























LF	Enter	Enter	Ctrl+P	Alt+010	
VT	NULL	NULL	Ctrl+Q	Alt+011	
FF	NULL	NULL	Ctrl+R	Alt+012	
CR	Enter	Enter	Enter	Alt+013	
S0	F1	Page Up	Ctrl+N	Alt+014	
S1	F2	Page Down	Ctrl+O	Alt+015	
DLE	F3	F11	Ctrl+P	Alt+016	
DC1	F4	NULL	Ctrl+Q	Alt+017	
DC2	F5	NULL	Ctrl+R	Alt+018	
DC3	F6	NULL	Ctrl+S	Alt+019	

























DC4	F7	NULL	Ctrl+T	Alt+020	
NAK	F8	F12	Ctrl+U	Alt+021	
SYN	F9	F1	Ctrl+V	Alt+022	
TB	F10	F2	Ctrl+W	Alt+023	
CAN	F11	F3	Ctrl+X	Alt+024	
EM	F12	F4	Ctrl+Y	Alt+025	
SUB	NULL	F5	Ctrl+Z	Alt+026	
Esc	Esc	F6	Ctrl+[Alt+027	
FS	ALT+028	F7	Ctrl+¥	Alt+028	
GS	ALT+029	F8	Ctrl+]	Alt+029	













RS	NULL	F9	Ctrl+ [^]	Alt+030	
US	NULL	F10	Ctrl+_	Alt+031	

文字	設置コード	文字	設置コード	文字	設置コード
-		SP 空格		!	
”		#		\$	
%		&		`	
()		*	
+		,			

.		/		0	
1		2		3	
4		5		6	
7		8		9	
:		;		<	
=		>		?	
@		A		B	
C		D		E	

F		G		H	
I		J		K	
L		M		N	
O		P		Q	
R		S		T	
U		V		W	
X		Y		Z	
[	¥	]	

ˆ		–		,	
a		b		c	
d		e		f	
g		h		i	
j		k		l	
m		n		o	
p		q		r	
s		t		u	

v		w		x	
y		z		{	
		}		~	
DEL		Ç		ç	

よくあるご質問

一：有線接続利用手順

1. パッケージに付属されたusbケーブルを設備のusbポートに差し込んで、スキャナーと接続します。
2. 設備のメモ帳を開きます。
メモ帳のカソールは点滅している状態に確認します。
3. スキャナーのトリガーボタンを押して、電源を入ります。
もう一回トリガーボタンを押して、赤い読み取りライトが出るかどうかを確認します。
4. お手元にあるバーコードをスキャンします。
例えば、本やペットボトルに貼られたバーコード。
5. データーをパソコンに伝送されたかどうかを確認します。

二：バーコードをスキャンしたが、「：」が「+」に置き換わってしまう

パソコンとスキャナーを接続する場合、スキャナーの設定言語はパソコンキーボード言語と一致に必要がございます。

方法1：スキャナーが出荷する際に、設定されたデフォルト言語は英語でございます、パソコンのキーボード言語も英語に切り替えてください。

方法2：もし、パソコンのキーボードは日本語の場合、バーコードスキャナーの言語も日本語に設定してください。

「キーボード言語の設定」部分の「日本語」の設定コードをスキャンしてください。

三：バーコード読み取れない

1. 先にバーコードが読み取れないかまたは成功にスキャンし、データがうまく伝送できないかを確認してください。

もし、バーコードをスキャンする際に、スキャナーから「ビビビ」と音が鳴る場合：

これはバーコードを成功に読み取れ、データ伝送失敗です。改めて有線接続で試してみてください。

2. バーコードをスキャンする際に、スキャナーからなんの音もならない場合：これがバーコードを成功に読み取れてないです。

以下のコツに従って、もう一回試してみてください。

真ん中のボタンを押したまま、スキャンしながらゆっくり後ろへ離れます。

トリガーボタンを押しながら、スキャン角度や距離を調整してみます。

そうすると、バーコードも読みやすくなります。

もし相変わらずダメなら、バーコードのサンプル/写真を撮って、出品者まで発送し、テストしてみてください。

バーコードに精度や鮮明度などによって、スキャン効果に影響がございます場合もございます。

またはバーコードは不標準や汚れなどがあり、スキャナーのデフォルト設定はバーコードの種類によって、オンにされていない場合もございます。

四：GS1データバー限定型合成シンボルCC-Aが読み取れない、またはGS1データバー限定型バーコードの下部分の一次元コードだけ読み取れます。

先に設定コードをスキャンするのが必要です。

「バーコード種類別オン/オフ」部分の「GS1 Composite code オン」の設定コードをスキャンしてください。

五：バーコードの配列が密集していて、スキャンされたバーコードは欲しい内容ではありません。

「ポジショニングライト」の設定コードをスキャンしてください。当該機能を設定してから、スキャナーのデコード範囲は真ん中だけに限定されてしまい、隣のバーコードのデコードに防止します。

でも「ポジショニングライト」の設定コードは当該説明書に記載されていません、お手数ですが、ご必要する場合、出品者まで連絡してください。

六：ハンズフリーの設定方法

「連続スキャン」の設定コードをスキャンし、スキャナーはスタンドに置いたまま、トリガーボタンを押さなくても、バーコードスキャンができます。「スキャンモード」部分の「連続スキャンモード」の設定コードをスキャンしてください。

七：取扱説明書の手に入れる

製品が出荷する際に、パッケージに取扱説明書を含みます。もし電子版のファイルが必要する場合、商品紹介ページから電子版取扱説明書をダウンロードし、または出品者まで連絡してください。

八：一部の2次元コードを読み取れない

「バーコード種類別オン/オフ」部分の「すべての2次元コードオン」の設定コードをスキャンしてください。

ご注意：スキャナーのバーコードデコード種類が多めに設定されると、スキャナーのデコード速度に影響がありますので、製品を出荷する際に一部のバーコード種類のデコードをオフに設定されました。

九：日本語を含むバーコードをスキャンする際に、文字ばけになり

ご注意：スマホやiPadでの日本語を含むバーコードを対応しません。入力されたインターフェースによって、「USBキーボードの日本語出力」部分の設定に従って、設定してください。

パソコンのバージョンがwindows10の場合：

- ①：先にパソコンのバージョンを【以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う】に設定します。
- ②：入力されたインターフェースによって、設定コードをスキャンします。
- ③：相変わらずだめなら、パソコンのキーボード言語を切り替えます。

例えば、

最初のキーボード言語設定が英語の場合、日本語に切り替えます。
最初のキーボード言語設定が日本語の場合、英語に切り替えます。

もし相変わらず文字化けの場合、Tera出品者まで連絡してください。
また以下の内容も一緒に送信してください。

1. ご注文番号
2. バーコードのサンプル
3. 正しい出力結果
4. 設備のバージョン番号、例えば：windows10またはwindows7
5. 出力されたインタフェース：例えばExcelやメモ帳。

十：スキャナーはソフトウェアと互換性がありません

スキャナーのインタフェースはUSB-Aで、国際共通USBプロトコルを使用しています。スキャナーの出力方式はアナログキーボード出力で、終了符はリターンです。互換性がないのは、ご使用するソフトウェアの制限のためかもしれません。

十一：スキャンされた内容はバーコードの内容と一致ではない

1. 先にパソコンのキーボード言語を英語に切り替えて、もう一回試してみてください。
2. バーコードのサンプル/写真を出品者まで送信してください。
(注文番号と、出力したい結果も一緒に送信してください。) 先にテストさせていただけます。

十二：工場出荷時のデフォルトに戻らない

「工場出荷時のデフォルトに戻す」部分の「ワイヤレスを工場出荷時のデフォルトに戻す」の設定コードをスキャンしてください。

または出品者まで連絡し、製品を完全にデフォルトに戻すの設定コードを問い合わせください。

ご注意：説明書の設定コードをテストバーコードとして頻繁にスキャンしないでください。

十三：電池が損害し、充電できないよう

パッケージに付属された純正のUSBケーブル線を利用し、パソコンのUSBポートまで差し込んで充電するのをお勧めいたします。

スマホのUSB 急速充電器を利用しないでください。

急速充電器を利用してしまって、スキャナーのプリント基板が壊れ、使えなくなる場合がございます。

まずスマートフォンやiPadのキーボード言語をデバイスに搭載され